



## 夕張岳ヒュッテ開設に寄せて

ユウパリコザクラの会

代表 藤井 純一

ようやく夏山のシーズンを迎えました。皆様のお蔭で例年より早い六月十六日に夕張岳ヒュッテ開きができました。ありがとうございます。また関係機関特に森林管理署によるヒュッテ前の橋の復旧には、真に有難く深い感謝の念でいっぱいです。

今年はいよいよ新ヒュッテの完成です。多くの皆様の寄付、そしてさまざまな企業の力をお借りして、秋には現実のものとなることを確信しております。

わが会は多様な取り組みをしています。例年のルーチン的な事業もヒュッテ建替えに劣ることなく大切なことです。特にヒュッテ開

### 第90号

2012.8.10 発行

ユウパリコザクラの会  
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町3

水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

E-mail  
kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ  
<http://yuparikozakura.org/>

設中の利用者の安全確保は重大なことです。利用者は非日常を求めて来ます。私たち管理するものは非日常になつてはいけません。何よりも利用者の安全を第一に考えヒュッテ運営にあたらなければなりません。

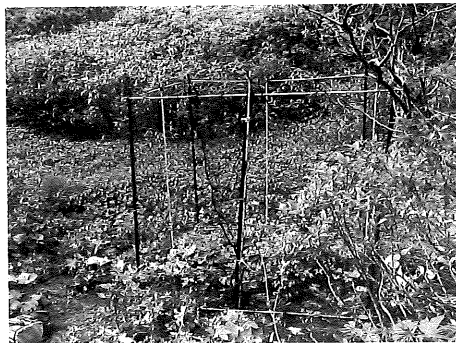
ここ数年、急に若い登山者が多くなりました。これは喜ばしいことです。山が多くの人に理解され、このすばらしき自然を後世に伝える橋渡しになつてもらえればと思つています。一方、入山者が多くなれば事故の虞も多くなります。もちろん私たちはその責任を負うことはできませんが、事故の対処の助けになることはできます。緊張感を持つて管理にあたってください。

六月三十日には夕張市長が夕張岳に登られました。また新ヒュッテの建設現場の様子もご覧になりました。私たちコザクラの会も非常に励みになりました。困難なことがまだまだ待ち受けています。心ひとつにして会の目的に向かきましょう。



清掃登山「シチズン夕張」のみなさんと ヒュッテ前 (6/10)

登山道の整備コースロープ補修作業実施。  
清掃登山には「シチズン夕張」から18名も  
参加協力をいただき、お礼を申し上げます。



平成24年度 エゾシカ対策事業 物理柵  
エゾシカによる高山植物食害防止  
対策事業の電気柵・物理柵設置。  
希少種調査が行われました。(6/24、7/1)

# 夕張岳登山

夕張市長 鈴木 直道

平成二十四年六月三十日、ユウパリコザクラの会の方々にサポートをいただきながら、「花の名山」として国の天然記念物指定地域になっている夕張岳に登りました。東京都から派遣されていた四年前からずっと登りたいと思っていました。ついに実現することができました。

絶好の登山日和の中、ユウパリコザクラの会の副代表である秦野さんの先導で、六時四十分に冷水コースの登山口を出発。冷水の沢、石原平、望岳台、憩いの沢、前岳湿原、男岩、ガマ岩、ひょうたん沼、お花畑、釣鐘岩、吹き通しを経て、十一時三十分、六六七・八の山頂にたどり着きました。

日常、はるか先に見えていた夕張岳の山頂。山道にはまだ雪の残るところ、沢水の流れているところもあるなど大変なこともありましたが、つまずきながらも声



鈴木市長とコザクラの会  
ヒユツテ前

を掛け合い、一步一步ゆつくりと、あきらめずに登りきると、そこには素晴らしい景色がありました。何事も一つのことを一生懸命やり遂げると特別な思いが残るものです。夕張岳を代表する固有種のユウパリコザクラやユウバリソウも確認でき、山頂では後ろ姿ではありましたがナキウサギにも出会うことができました。

これら固有の植物種が多いのは、夕張岳一帯が「蛇紋岩」というマグネシウムや重金属を多く含んだ超塩基性の岩石が露出した特殊な地形だからと教えていただきました。これらの固有種を含めた夕張岳の自然を守るためにユウパリコザクラの会の皆様には山のパトロールやヒユツテの管理をしていただいています。本当にありがとうございました。

下山後にはヒユツテで流しそうめんをこちそうになりました。登山中に飲んだ沢の水とともに大変おいしく、よい思い出になりました。

ユウパリコザクラの会とボランティアの皆様が中心となり新しいヒユツテの建設が進んでいます。今年中には完成して、来年の山開きから使用する予定のことです。

夕張岳には年間約四千人が登山に訪れ、この日も入山ポストに記帳した人だけで百五十五人いたそうです。貴重な高山植物があり、毎年多くの方が訪れる夕張岳は夕張市の大切な財産であることを改めて確認することができました。



ユウパリコザクラ



ユウバリソウ

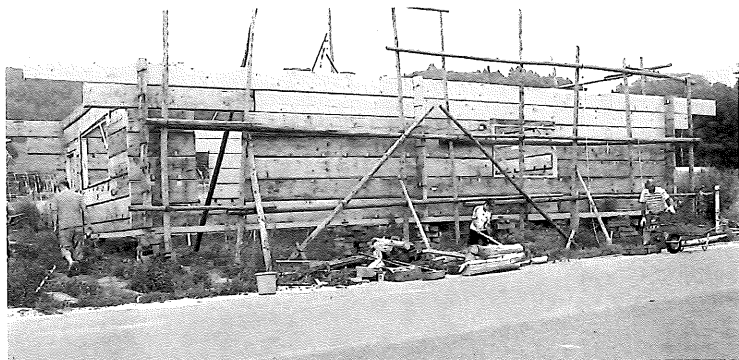


鈴木市長と夕張岳頂上にて 6月30日 (大西克彦さん提供)

# ヒュッテ完成の夢

## ユウパリコザクラの会

代表 藤井 純一



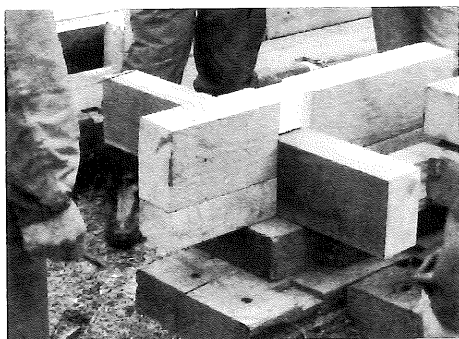
7月下旬仮組み作業完了 静かに搬出を待つ勇姿 (沼ノ沢)

計画を立ててから三年目の春、本当の意味で私たちの手作りの夕張岳ヒュッテの建設が始まった。年度替り四月の初旬スコップと排



南富良野町 目黒義重さんから技術指導を受ける (4/24 沼ノ沢)

雪用そり二台で始まった建設作業。ふた冬をすごした清陵小学校の再利用材が、深い雪の中から顔を出した。来る日も来る日も仮設場所の除排雪、時たま季節外れの吹雪にもみまわれた。地味な仕事を皆必死にやった。二百キ口を超える建築材との格闘。皆頑張った。六月半ばには材料がつかってしまった。すぐに入ると言っていた建築材が二週間以上もかかった。私の再就職は七月からで、焦ってきたがどうしようもない。その間後回しにしていたこまごまとしたことに手を付け、入荷の日を待った。七月上旬木の匂いもかぐわしい真つ白な北米材が入荷した。



技術指導 (4/24 沼ノ沢)

の運搬を待つのみである。この両日は企業の地域貢献支援を受けることになり、感謝の気持ちでいっぱいです。一方条件の悪いヒュッテでは、管理業務の傍ら土台の施工に精力的に携わった人達、わざわざこの仕事のために行ってくれた人に深い敬意を表します。連日暑い中皆さんの熱意ある応援で、実現の日が一步一歩近づいてきました。ことごとく失敗した助成金の申請も、良い目が向いてきた兆しがあります。コザクラの本来の活動も怠ることなく成し遂げ、この一大事業も成功させましょう。もうひとふん張り気を引き締めて、秋には新夕張岳ヒュッテの勇姿を見ながら、夢を語りましょう。



加工作業 (5/11 沼ノ沢)

# 記憶に残そう ふるさとの山

第4回 産炭地域子ども交流事業 7/21(土) ~22(日)

夕張岳の大自然の中で思いっきり自然とふれあい  
自然との深い絆の尊さをまなび楽しみました。  
5才の園児から75才のじいちゃんまで  
みんな仲よく、力を合わせがんばりました。



開催のあいさつ ヒュッテ前

## 開催内容

1. 夕張岳登山
2. ターザンごっこ
3. 丸太切り体験
4. 新ヒュッテ作り体験
5. 川遊び

6. 山のお話し  
テーマ「夕張岳とアボイ岳の  
花のつながり」  
先生 田中正人(アボイ岳ファンクラブ)
7. 流しそうめん



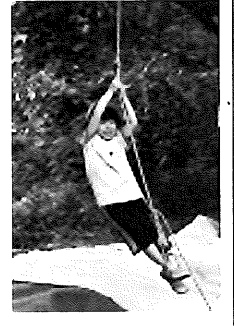
トイレの使い方 説明



準備体操



ターザンごっこ  
たのしかった



ターザンごっこ



火おこし  
おじさんがやさしかった



スイカ割り  
スイカおいしかった



スイカ割り



窓ノコで丸太切り  
体験



窓ノコで丸太切り  
できたよ

本事業に使用した丸太は  
空知森林管理署より提供がありました。  
参加者に大変好評でした。  
お礼申し上げます。



ヒュッテ前集合、7月22日



A班 夕張岳頂上にて

## アポイ岳ファンクラブと 学習交流登山 同時開催

一日目(7/21日)はジオパークに選定されているアポイ岳の田中正人先生を講師に「山のお話」をみんなで聞きました。アポイ岳では高山植物を増やす再生会議の取り組みについての紹介。またアポイとユウバリは、高山植物とカンラン岩の地質では良く似て姉妹のような山、アポイの名を冠してアポイにはなく、夕張岳に有する高山植物など、田中先生の話術ときれいな写真にウツトリ見とれ、ためになる山の話の学習しました。終了後には夕食のカレーライスで交流を深めました。

### 展望のすばらしい 夕張岳

リーダー 秦野 公彦

今年の産炭地域子ども交流事業は、参加者三十名、コザクラ会員十五名、様似町からアポイファンクラブ七名と例年になく多くの人達で賑わった。

ターザンごっこや丸太切り、新しく建築しているヒュッテのお手伝い等、自然体験に合った子供達は、大いに楽しんでた。

二日目の夕張岳登山は参加人数が多いので二班に分れ、小学生達は望岳岳までの三時間、急登と悪戦苦闘しながら元気に登りました。

頂上アタック組は、十四才から六十七才までの十名。

地元夕張の人が多かったのですが、大阪や東京からの人達も加わって、初対面とは思われない程和やかな雰囲気でした。

朝方、霧で視界が悪かったのですが、石原平では霧が開け、滝ノ沢岳が顔を出したのを見てみんな喚声を上げる。

高山植物がすこしずつ出はじめた、前岳湿原からは、黄色やむらさきの花にお互いの名前を言い合いながらの登山でした。

遠くに見える芦別岳、アプローチの長い登



B班 望岳台にて



流しラーメン おいしかった

山道に、地元夕張の人から「自分は夕張にいて登ったことがなかった。こんなに雄大で展望のすばらしい山とは思っても見なかった」と新たなため、夕張にこんなすばらしい財産があるとは・・・と感激していただきました。

頂上からの展望で「夕張岳の高山植物が他では見られない程多く生育しています。それは夕張岳が特殊な地形から成りたつてからです・・・ここから見える前岳までをノック地形と言います。」

この様な説明に、なる程、夕張岳が国の天然記念物に指定された理由がわかりましたと・・・理解していただきました。

帰りは、疲れた体と筋肉痛の足をひきづり、お互い励まし合いながら無事下山しました。

ヒュッテでの冷たい流しラーメンを食べながら、今、いつか再会することを誓い合ってヒュッテをあとにしました。

今回御協力いただいたスタッフのみなさん、おつかれ様でした。

(安平町)



## 登山日誌

伊藤 泰弘 会員

平成二十四年七月二十一日孫娘(愛彩)・(まあや)を乗せて一路夕張岳ヒュッテへ。途中キタキツネやエゾ鹿が顔を出し愛彩にとつては興味津々な出だしとなる。晴天のフユッテでは、「第4回産炭地域こども交流事業」が開催された。愛彩と同年代の子供たち数名が、ターザンごっこや、丸太切り、火起こし、川遊びなどのイベントに参加。ターザンごっこでは、「やってみる。やってみる」と目を輝かす愛彩。もう、飽きもせず友達と何度何度も繰り返す。スタッフの皆さんさぞお疲れでしたでしょう。遊びの中で愛彩にとつて一番のお気に入り「まがいぎり」と言う火起こし。最初はおぼつか無い手つきで唇の上に切り傷を作りながら懸命に回していたが、気が付いたら小刻みに回し始めていてビックリ。子供の習得の早さ恐るべし。川遊びでは、お兄ちゃん達(大学生の参加者)に遊んでもらい大はしゃぎ。もう靴はグチョグチョ。お兄ちゃん達、お世話になりました。実は夜空の星を見せたかったのですが残念ながら雲があり見れず。

また、今度というこで。

今回の参加で気になっていたのは、トイレと寝袋。まず、トイレでは、中を覗きこんで「わー、こわいー」「見るんじゃない」とおじいちゃん(私の事)。でも、2回目3回目と回を重ねると。「おじいちゃん、蓋開けといて」と命令するほどに(蓋とは使用済みの紙を捨てる箱の蓋の事)。寝袋で寝る方は全然心配いらなかつたです。遊び疲れもあつたのでしよう「すーっ」と寝てくれました。

靄(もや)つた朝を迎える。もしかしたら雨と思いき空を見上げるが何とか晴れそうだと思ひ直す。愛彩はお友達に混じって元気良く出発。お友達といっしょに登っていたせいか弱音を吐かずもくもくと登るのに感心感心。公園のジャングルジムで遊ぶように柔らかい動きで登る子供たち。思っていた以上に安心して見ていられました。

今回の登山では下りの体力を温存させたかつたので石原平までと決めていました。もつとも石原平の手前から愛彩からアイコンタクト「おじいちゃん、疲れた」。下りは登りと違って愛彩と並んで下山。ときどき尻餅をつきながらの下山。でも、おおきく転んだり滑ったりすることもなく無難に下山できてほつとしました。今回の登山前に登山靴から帽子・ウェアなど準備(全ておじいちゃんの支払い)。この道具たちも安全



B班 石原平にて(大西克彦さん提供)

登山の一役に。そしてリーダーをはじめスタッフの方々、大変お世話になりました。

ヒュッテに戻ってから楽しい「流しソーメン」を食したあと、また、火起こしで遊ぶ。あんなに疲れたと言っていたのにもかかわらず。そしてターザンごっこを始めるお友達も。元気なこと。

帰りの車中で「今度、ママと行くこね。」「ママは行かないよ。だって、こうしてこうしてこーうだから」とママの体型をかたち作る愛彩。もう、お相撲さんだ。愛彩の家に ついて、何やらママとヒソヒソ話する愛彩。「おじいちゃん、ママ行かないって(笑)。」「・・・」。次の夢はこのママ(我が娘です)とフルマラソン出場。

(札幌市)

## 会のうごき

- 4月3日 ヒュッテ仮組作業現場整理及び除雪(沼ノ沢)
- 9日 ヒュッテ仮組大工作業開始(沼ノ沢)
- 16日 役員会 ミーティングルーム(7名)
- 21日 北海道高山植物保護ネットワーク会議(北大環境研究院)
- 24日 エゾシカネットワーク総会出席(道庁1名)
- 〃 どんごろ野外学校 目黒義重校長(沼ノ沢作業現場にてヒュッテ仮組技術指導行なう)
- 27日 市教育委員会訪問(藤井)
- 5月3日 ヒュッテパトロール(4名) 雨天の為途中撤退
- 13日 ヒュッテパトロール(1名)
- 15日 空知森林管理署訪問(2名)
- 19日 定期総会(16名) 市民研修センター
- 〃 市民フォーラム「生物多様性と保全」を学ぼう(32名) 同上
- 〃 講師 萩原康政 道生物多様性保全グループ
- 〃 柏崎 昭 同上
- 〃 福本明男 夕張自然科学研究会
- 〃 秦野公彦 ユウバニコザクラの会副代表
- 28日 FM ラジオ「宝島」取材収録(藤井代表)
- 6月6日~8日 ヒュッテ開設 炊事棟整備作業(4名)
- 7日 夕張岳関係者協議会出席(3名)
- 〃 道自然環境課も(2名) 出席し
- 〃 夕張岳のエゾシカ対策事業説明
- 9日 市民研修会「夕張岳の自然と安全登山について」(30名)
- 〃 講師 小林信男教育長 市民研修センター
- 〃 夕張岳ヒュッテ清掃整備作業(15名)
- 10日 第1回森林パトロールボランティア(17名)
- 〃 清掃登山兼登山道補修整備作業
- 〃 「シチズン夕張」清掃登山に参加(18名)
- 13日 役員会 ミーティングルーム(7名)
- 16日 ヒュッテ開き(15名) 市教育委員会出席
- 17日 高山植物パトロール(雨天の為途中撤退)
- 〃 ヒュッテ周辺整備作業
- 23日 高山植物盗掘防止キャンペーンに協力
- 〃 空知総合振興局主催
- 〃 登山口にてチラシ配布(当会6名)
- 24日 エゾシカネットによる電気柵設置及び残置資材下ろし作業に協力
- 〃 道8名、酪農大学生5名、当会4名 計17名
- 27日 市教育委員会、まちづくり企画課、市長公室訪問(藤井、秦野)
- 〃 シューパロダム意見交換会出席(夕張市2名)
- 30日 鈴木市長を「夕張岳に登らせよう会」市長他5名参加
- 〃 当会リーダー秦野他同行者4名
- 〃 後方支援ヒュッテ前藤井代表他5名
- 7月1日 エゾシカネットによる物理柵設置作業、希少種モニタリング調査に協力
- 〃 道3名、酪農大学生6、佐藤謙氏、羽田氏、当会2名
- 4日 官民合同監視パトロールに協力 空知総合振興局主催(当会5名)
- 〃 木道点検調査、空知森林管理署
- 7日 第2回森林パトロールボランティア(3名)
- 8日 空知管内3団体交流学習登山 雨竜沼湿原
- 〃 雨竜沼湿原を愛する会(6名) ユウバニコザクラの会(5名) 雌山自然保護協議会
- 〃 役員会 ミーティングルーム(7名)
- 14日 第4回産炭地域こども交流事業「記憶に残そうふるさと山」
- 21日~22日 場所 夕張岳ヒュッテ及び夕張岳
- 〃 参加者30名、スタッフ17名
- 〃 山のお話「夕張岳とアポイ岳の花のつながり」について
- 〃 講師 田中正人 アポイ岳ファンクラブ
- 〃 アポイ岳ファンクラブと夕張岳交流学習登山(7名参加)
- 24日 エゾシカネットによる物理柵設置作業、希少種モニタリング調査に協力
- 〃 佐藤 謙氏、酪農大学生2名、当会1名

## 空知管内三団体学習

### 交流登山に参加して

大嶋 悠子会員

豪雪地帯の春は遠し。暑寒の山岳高層湿原雨竜沼へ。

五十年の月日を経て残っている散策路踏み跡の現状確認と自然回復の難しさ、植生の保全と言う永遠の課題が今回のテーマです。六月より雨降りが少ないながらも高層湿原だけ有り深緑の中、まだ春の花々が・・・大小の地壟の水草木道沿いには初夏のエゾカンゾウの黄色やワタスゲの白、ヒオウギアヤメ、ハクサンチドリの花がまっ青な空とベースの

緑一面に包まれ、まるで一枚の絵葉書を拡大した中に佇んでいれ至福の空間でした。

かつては登山者が湿原を自由に歩き傷つけられ(崩壊前線に縁取られた台地)と名の付けられた全長四キロメートル(現在)の木道と湿原テラスを保存する為、雨竜沼原生態系保全など様々な分野で地道な努力を重ねられている陰の力を忘れず花と昆虫の共生のごとく私達も自然を求め足を小み入れるからには共存マナーを常に持ち歩きたいものです。

太陽が木道に当たり熱をため周囲が暖まりすぎ木道脇だけが背が高い花や木が増えている事や木道下にも月光や風を通す工夫が施され温湿計&百葉箱も新しくなっていました。

(札幌市)



雨竜沼湿原展望台にて 7月8日  
雨竜沼湿原を愛する会のみなさんと

## 今後の日程

### 夕張神社手塚宮司の祝詞で 新ヒュッテ安全建築祈願祭挙ります

日 時 8月18日(土)午前10時  
場 所 夕張岳ヒュッテ前広場

尚、祈願祭終了後書道家比志星翠先生による  
新ヒュッテの看板の揮毫が行われます。  
当日はヒュッテ現地見学会も行いますので  
お誘い合せの上ご来場下さい。

お問合せは会の事務局まで

### 新ヒュッテ本組み作業員募集

日 時 8月25日(土)26日(日)  
午前9時～

場 所 夕張岳ヒュッテ

現地で部材の積み上げ作業を行います  
が人手が要ります。一日だけのご協力でも  
歓迎。作業服、手袋、寝袋、食料等各自  
でご用意願います。

お問合せは会の事務局まで

### 新ヒュッテ屋根作業予定

9月上旬・中旬 屋根組加工作業  
10月上旬 屋根トタン施工(地元業者)

## 中間報告 No7...

ヒュッテ建替え一万人委員会より  
第7回報告(7/31現在)

**781名 4,422,270円**

みな様の温かいご支援に対しまして心より  
お礼を申し上げます。いよいよ10月には  
屋根を掛ける見通しが付いてきました。  
今後も目標に向かって頑張りますので  
引き続き、みなさまのご協力をお願い  
致します。

## 高山植物パトロール活動予定

次のパトロール活動日をお知らせします。  
参加協力いただける方、問い合わせは  
会事務局まで連絡をお願いします。

8月19日(日) 第3回森林パトロールボランティア

8月21日(火) エゾシカ対策事業、希少種調査協力  
～22日(水)

9月8日(日) 第4回森林パトロールボランティア

9月29日(土) エゾシカ対策事業 電気柵・物理柵  
撤去作業協力  
～30日(日)

10月6日(日) 第5回森林パトロールボランティア  
登山道整備ロープ撤収作業

(いつもの通り上記の集合場所と時間につきましては、  
清水沢お買物駐車場午前6時とします。)

10月20日(土) ヒュッテ冬囲い作業  
～21日(日)

## 会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心  
をお持ちの方、ヒュッテ建替建設に関わって  
みたい方は会事務局までご連絡お願い致します。

年会費 2,000円 家族会費 3,000円  
ユウバリコザクラの会  
郵便局振込口座 02780-9-43747

## 東日本大震災被災地の 子供たちへ義援金送付

報告が遅くなりました。昨年5月総会会場にて  
上記の義援金を募りましたところ2万円が集まり  
ました。

当会名で「被災地にピアノをおくろふ募金」代表  
林田定昭様へ送付致しました。

その後現地の学校には、グランドピアノが贈られ  
たとの報告がありました。

(事務局)